

# 広 告

# いしかり産

## 高橋知事絶賛! 浜益のサクランボ

先日、市長が自慢そうにこう言いました。「去年、知事が浜益のサクランボ農家を訪問したとき、こんなおいしいサクランボは食べたことがない。北海道一のサクランボですよと、褒めてくれたんだよ」

浜益には、11戸のサクランボ農家があり、約半数が観光果樹園を営んでいます。

山に囲まれ、潮風が当たらぬ地域のため酸味が押さえられ、寒暖の激しさが、甘みの強い身の締まった果実を作ります。

大粒で形が良く、ほどよい甘酸っぱさがあって果汁の多い「佐藤錦」、北海道生まれで果肉がやわらかく、酸味と甘みのバランスの良い「水門」、やや小さめのハート型をした甘い「高砂」、最高級品種の「南陽」など、7月上旬から8月上旬までサクランボ狩りが楽しめます。

浜益の果樹は、初夏のサクランボに始まって、プラム、モモ、ブドウと続き、秋にはおいしいリンゴの収穫が待っています。

▶天狗山のふもとに広がる斗内さんの果樹園。リンゴの季節のころは、山の紅葉が素晴らしいといいます。



◀木村さんの果樹園。サクランボは、果皮に雨に当たると簡単に実割れするデリケートな果物のため、ビニール屋根の雨よけ施設が。雨天でもサクランボ狩りが楽しめるという利点もあります。



▼最高級品種の南陽。果肉がしっかりといた硬さの大粒で甘みも強く、ジューシーです。



サクランボ狩りの問い合わせ先  
斗内果樹園 ☎79-2244  
中野果樹園 ☎79-2650  
きむら果樹園 ☎79-2835  
善盛園 ☎79-3014  
成田果樹園 ☎79-2693  
滝本果樹園 ☎79-2246

悌の眼にちらつくや  
魂祭  
柳蛙

柳の葉にちらつくや  
魂祭  
柳蛙

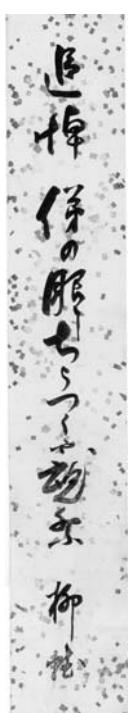
という句であつたことに、驚き  
も重なった。それとも一昨年、弁天歴史公園に市民とのコラボレートにより建てられた句碑に刻み込まれた句であつたからだ。伝蔵は死刑囚として約二十年、石狩に潜伏し、市井の人として日々を過ごす中で、故郷への断ちがたい心の中を句に表したものだ。

同じ時代に本町に「尚古社」と称する俳句結社が全国的な活動をしており、その社員の一人

程なく消えようとしている。藏の中から明治十七年「秩父の農民等が蜂起した「秩父事件」のリーダー格、井上伝蔵（俳号柳蛙）の直筆による俳句の短冊が見つかった。

## ◎ 石狩隨想

4



火災にあってもこの漂いを残して  
いる。伝蔵の句でも吟じながら、  
尚古社を訪ね、明治を感じるのもよいのではないか。

（市長）

本町市街地の朽ちた土蔵があつた伝蔵が仲間とともに詠んでいた句である。養蚕業主体の山間部にあつて、ニューヨークに端を発した世界的恐慌による生糸暴落を背景に、秩父事件が起きたといふ。町長も「伝蔵さん」の血縁の方とあつてお墓にお参りさせていただいた。この地域の豊かな商家にあつて将来を嘱望されていた伝蔵を、農民一揆に駆り立てたものは何なのか。一人の人間の残された魂に熱いものを感じた。歴史は市中を歩くと、石ころの一つであつても語りかけてくるもので、本町市街地は度重なる火災にあっても、この漂いを残している。伝蔵の句でも吟じながら、